



# CHAPTER 34

## セキュア メディア パススルー

Session Border Controller (SBC; セッション ボーダ コントローラ) では、セキュア メディア パススルーを受け入れるように Data Border Element (DBE; データ ボーダ エレメント) を設定できます。デフォルトでは、この機能はディセーブルになっています。

Secure Real-Time Protocol (SRTP)、Secure RTP Control Protocol (SRTCIP)、Datagram Transport Layer Security (DTLS) パケットなど、セキュア メディア パススルーを受け入れるように DBE を設定すると、SBC は DBE がこれらのパケットのパススルーを許可するように追加の帯域幅を予約します。

DBE により、RTP パケット チェックを実行せずにセキュア RTP パケットが流れるようになります。この機能を使用すると、暗号化によってフローあたり 10 % 以上帯域幅が増え、パケットサイズの増大に対応できます。ただし、この増大はメディア フロー統計情報には反映されません。

この章で使用されているコマンドの詳細については、[第 39 章「Cisco セッション ボーダ コントローラ コマンド」](#)を参照してください。この章に記載されたその他のコマンドのマニュアルを特定するには、コマンド リファレンスのマスター インデックスを使用するか、またはオンラインで検索してください。

### セキュア メディア パススルーの機能の履歴

リリース	変更内容
Release 3.1.00	この機能が Cisco 7600 シリーズ ルータに追加されました。

## この章の構成

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- 「[前提条件：セキュア メディア パススルー](#)」 (P.34-1)
- 「[セキュア メディア パススルーに関する制約事項](#)」 (P.34-2)
- 「[セキュア メディア パススルーの設定](#)」 (P.34-2)
- 「[セキュア メディア パススルーの設定例](#)」 (P.34-3)

## 前提条件：セキュア メディア パススルー

次に、SBC セキュア メディア パススルーを実装するための前提条件を示します。

- Application Control Engine (ACE) モジュールで SBC コマンドを入力するには、Admin ユーザーである必要があります。詳細については、次の URL にある『*Application Control Engine Module Administration Guide*』を参照してください。  
[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/modules/ps2706/products\\_configuration\\_guide\\_book09186a00806838f4.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/modules/ps2706/products_configuration_guide_book09186a00806838f4.html)
- セキュアメディアを実装する前に、SBC を作成しておく必要があります。第 2 章「SBC の ACE を設定するための前提条件」に記載された手順に従ってください。

## セキュアメディアパススルーに関する制約事項

セキュアメディアについて、次の制約事項を確認してください。

- この機能をイネーブルにすると、`db media-flow-stats` の RTCP 関連の統計情報が不明なものとして表示されます。

## セキュアメディアパススルーの設定

### 手順概要

1. `configure`
2. `sbc service-name`
3. `dbe`
4. `secure-media`
5. `end`

### 詳細手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>configure</code>  例： host1/Admin# <code>configure</code>	グローバル コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。
ステップ 2	<code>sbc service-name</code>  例： host1/Admin(config)# <code>sbc mysbc</code>	予期せぬ送信元アドレスに対してアラートを設定できるサブモードを開始します。  サービス名を定義するには、 <code>service-name</code> 引数を使用します。
ステップ 3	<code>dbe</code>  例： host1/Admin(config-sbc)# <code>dbe</code>	予期せぬ送信元アドレスに対してアラートを設定できるサブモードを開始します。

コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4 <code>secure-media</code>  例: <code>host1/Admin(config-sbc-dbe)# secure-media</code>	DTLS パケットや SRTP パケットなどのセキュア メディア パススルーを許可するように、DBE を設定します。
ステップ 5 <code>end</code>  例: <code>host1/Admin(config-sbc-dbe-vdbe-global)# end</code>	予期せぬ送信元アラート モードを終了して、DBE モードに戻ります。

## セキュア メディア パススルーの設定例

ここでは、セキュア メディア機能の設定例を示します。

セキュア メディア パススルーを設定するには、次のコマンドを使用します。

```

host1/Admin# configure
host1/Admin(config)# sbc mysbc
host1/Admin(config-sbc)# dbe
host1/Admin(config-sbc-dbe)# secure-media
host1/Admin(config-sbc-dbe-vdbe-global)# end

```

